

五月(May)の校長 県総体の壮行式 (R3.5.14)

第1学期中間試験の最終日、試験終了後、令和3年度島根県総合体育大会に向けての**壮行式**を全校生徒並びに全教職員で**校庭にて**、開催しました。

雨だと全校生徒を体育館に集めることは出来ませんでした。暑いぐらいの晴天に恵まれ、全員マスク着用のもと、間隔もかなり広くとり、長時間にならないように新型コロナウイルス感染症に十分に留意して行いました。

全校生徒及び全教職員が一同に集まるのは、この壮行式が今年度初めてのこととなりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のため中止になった県総体ですが、今年度は、応援等の様々な規制はあるものの、生徒達が日頃から励んできた成果を発揮する**最高の舞台**として、いよいよ5月27日から始まります。

壮行式では、自分の経験から『校長激励の言葉』を述べさせてもらいました。

『まずは、県総体を含め勝負に勝つための最も大切なのは『**己に勝つ**』ことだと思います。

場の雰囲気や飲まれたり、戦う前から相手に名前負けしたり、自分で今日は調子が悪いと言い訳したり、逆に力みすぎたり、これまで取り組んできた日頃の自分がいかに出せるか、いかに**「平常心」**で望めるかが、勝負の決め手となります。

「平常心」で望むための有効なポイントの一つは、**リズム**だと思っています。日頃行っているルーティーンを含め、いつもと同じ自分のリズムを心がけることが重要です。

あせると周りが見えなくなり、リズムが速くなりがちです。

周りを見渡せるような余裕を持ち、特に流れの悪いときなどは、上手に**間をとって**、自分の、またはチームのリズムを大切に戦ってください。

そして、何よりも格好を気にせず、泥臭く見えても**最後まで粘り抜いて**ください。

勝負なので、当然勝ち負けがつきます。勝つことを目指すのは当然ではありますが、必死で最後まで一生懸命取り組んでいる姿は、敵味方関係なく、誰もが自然に応援したくなるものです。そんな**最後までやりきったプレー**を心より期待しています。

今まで努力を積み重ねてきた自分自身を、チームを信じて頑張ってきてください。

それでは、残った生徒全員、教職員一同、君達を心から応援しています。

健闘を祈ります！』

その後、**野球部による規律のとれた心のこもった応援**に加え、**吹奏楽部の生の演奏**のもと、マスク越しでしたが全員で**校歌斉唱**を行いました。校歌を声を出して歌ったのは、かなり久しぶりでもあり、実に感慨深く感じたのは私だけではなかったと思います。

全体を通して、選手諸君に良いエールが送れた壮行式となりました。

それでは、コロナウイルスに負けることなく、思い出に残る県総体となることを心より願っております。頑張り、益高生！！